

学位論文申請手続きのマニュアル

博士乙号：論文博士

久留米大学 大学院医学研究科

学論文博士（乙号）の学位論文は、審査から学位記授与まで最短4ヶ月かかります。乙号の学位論文の審査を受けるにあたり、少なくとも主論文1編および参考論文3編の計4編を提出する必要があります。当該年度で退職される教授が指導教授や主査となる場合は、早めに申請手続きを開始してください。

1. 学位申請の条件

久留米大学には5つの大学院研究科があり、医学研究科では、博士（医学、医学バイオ統計学、看護学）、および修士（医科学、看護学）の学位の取得が可能。大学院に行かず研究歴を満たし、その成果を論文としてまとめる事で取得できる博士号のことを「乙号」と呼ぶ（甲号は課程博士、乙号は論文博士）。乙号の申請には次の3つの条件を満たしている必要がある。

- ①久留米大学の教職員であること
- ②必要な研究歴（臨床6年、基礎5年）を満たしていること
- ③外国語試験（英語）に合格していること（有効期限なし、年に2回実施。博士課程満期退学者は退学後5年間は免除される）
- ④研究発表会にて発表していること（有効期限なし、年1回実施。）

2. 論文提出手続き締め切り及び提出先

本提出の前に、下記「3. 提出書類」を準備し、下書き点検を受けること。提出書類の下書き一式準備後、印刷し、主論文・参考論文各1部、経歴書または履歴調書と共に医学部事務部庶務課（教育一号館2階）Tel：0942-31-7527(ext:3014) 学位担当者へ提出し、清書時の注意点や申請の流れの説明を受けること。なお、主論文が共著（申請者が筆頭著者）の場合は、大学院医学小委員会（毎月初旬に開催）での審議が必要になるため、申請の準備を始める段階で、庶務課学位担当者に申請のスケジュールや提出期限を確認すること。

3. 提出書類一式 【記入例を参考に、PCで作成すること】 ※白紙で提出をお願いいたします。

規程書式	書類名	部数	詳細
様式1	学位申請書（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式2	論文目録（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式3	論文要旨（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
様式4	履歴書（HPよりダウンロード）	1	記入例を参考に記入する。
あり	主査及び副主査推薦書 （HPよりダウンロード）	1	指導教授に主査及び副主査を推薦していただき、下書き点検時に提出下さい。※注意「審査を受けようとする時は、指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。」（久留米大学大学院医学研究科学位規則施行細則第7条3項抜粋）
なし	主論文別冊（印刷公表済のもの） PDF可、できればデータで提出	4	印刷公表済の主論文別冊もしくは参考論文別冊（データ可）を申請時に提出できない場合は、ゲラ（校正）刷り、もしくは論文原稿の写しに投稿掲載証明書（accept letter）を添えた形で受け付ける。但し、学位記授与式までに主論文別冊と参考論文別冊未提出の場合、同日学位記を返還していただき、別冊が出来次第、別冊の提出をもって授与されます。
なし	参考論文別冊（ " 3編以上） PDF可	各2	
あり	承諾書・誓約書（HPよりダウンロード）	1	学位論文は原則単著論文（著者一人）ですが、「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」（ホームページよりダウンロード可）により共著論文（著者複数名）も学位論文として認められています。その場合、書式をダウンロードし提出してください。共著者が日本人でない場合、英語の承諾書の様式を使用してください（ホームページよりダウンロード可）。
あり	共著論文内容における申請者の役割についての証明（HPよりダウンロード）	1	
—	本学における経歴書 （本学教職員のみ）	1	給与厚生課にて発行。

—	卒業証明書（本学以外の卒業者のみ）	1	卒業した大学から入手してください。
—	乙号外国語試験合格証書（写し）	1	年に2回（10月、2月）実施。この試験に合格しなければ乙号学位申請ができません。博士課程満期退学者は、退学後5年間は試験免除される。
—	乙号研究発表会発表証明書（写し）	1	年に1回（12月）実施。この発表会にて発表しなければ乙号学位申請ができません。
—	審議手続料および審査手数料		医学部券売機にて、支払いを行い、証紙を庶務課学位担当に提出して下さい。金額等の詳細は下記4.を参照。
あり	久留米大学機関リポジトリ登録申請・許諾書（HPよりダウンロード）	1	学位申請前に出版社に著作権ポリシーを確認し、博士論文インターネット公表を行うために必要な利用許諾をご自身で得てください。
なし	主論文の電子媒体（PDFファイル）・主論文の著者最終版	1	機関リポジトリ登録用（メールで庶務係学位担当へ送付） Figure・Table等は1つのファイルにして下さい。
あり	審査要旨の結果	1	集談会発表後に庶務課学位担当者へ提出

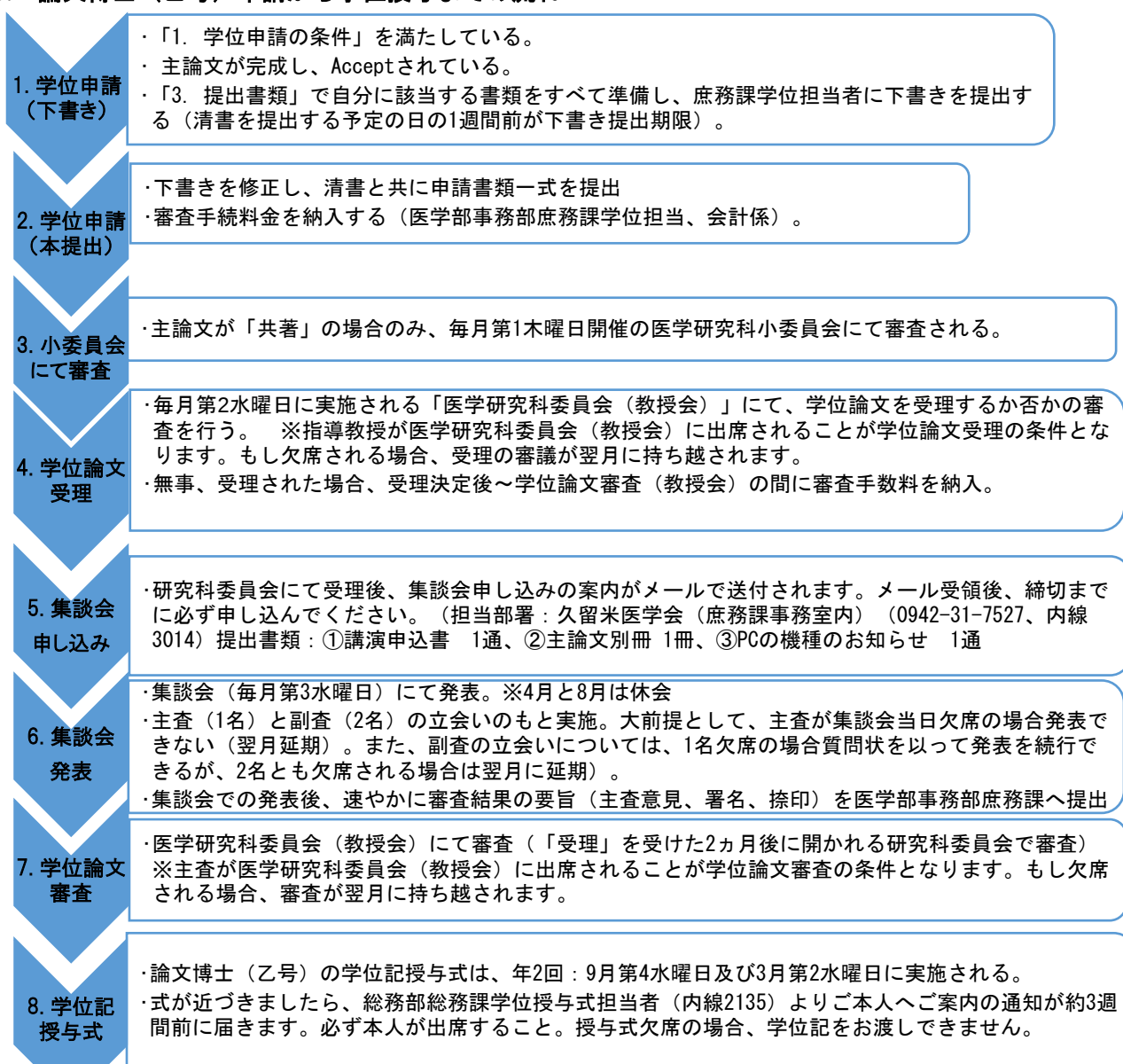
※主論文が、人または動物を対象とした研究の場合や、遺伝子組換えを行った研究の場合には、承認書あるいはそれに準じた書類を提出してください（令和5年3月9日大学院医学研究科委員会承認）。
「学位申請の取扱いについて（申し合わせ）」を参考のこと。

4. 審査手続料及び審査手数料

医学部券売機にて、審査手続料ならびに審査手数料を期限までに納入して下さい。振込を希望の方は下書きチェック時にその旨お伝えください。

- ・審査手続料：50,000 円 【納入期限：学位申請書類一式提出時】
- ・審査手数料：本学教職員 100,000 円、以外の者 200,000 円【納入期限：審査結果の要旨提出時】

5. 論文博士（乙号）申請から学位授与までの流れ



乙様式 1

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学学長 ○ ○ ○ ○ 殿

指導教授 ○ ○ ○ ○ ⑩

氏 名 ○ ○ ○ ○ ⑩

学 位 申 請 書

「医学」「医学バイオ統計学」
「看護学」の何れかを入

このたび久留米大学学位規則第13条第2項により博士（ ）の学位を受けたいので、
下記のとおり関係書類を添え、申請します。

記

- | | |
|------------|-----------------|
| 1. 主 論 文 | ○ 編 ○ 冊（例：1編1冊） |
| 2. 参 考 論 文 | ○ 編 ○ 冊（例：3編3冊） |
| 3. 論 文 目 録 | |
| 4. 論 文 要 旨 | |
| 5. 履 歴 書 | |

医学研究科委員会受理

医学研究科委員会審査

空欄

論文目録

乙第

号 氏 名 ○ ○ ○ ○

論文題名、著者名は略さず、別刷りの記載内容と同様に記載すること。英文の場合、大文字・小文字を区別。著者名のMD, PHD等の記載は不要。

主論文

(英文例) 題 名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(和訳 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○)

論文題名が外国語の場合、
和訳を付す。

著者名 ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

雑誌名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○, Vol. ○, P. ○-○, 2000

別刷りができていない段階で申請する場合は “Vol. O, P. O-O, 2000” の “O” の部分を空欄のまま提出。決まり次第記載するため。(和文の場合も同様)

(和文例) 題 名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

著者名 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○。

雑誌名 ○ ○ ○ ○ 第 ○ 巻 (○頁~○頁) 平成 ○ 年

○ 編 ○ 冊

(例：1編1冊)

参考文献

参考論文は、発行年月日が古いものから順に記載。
日本語論文、英語論文の記入例は主論文に準じる

1. 題 名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

著者名 ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○、 ○ ○ ○ ○

雑誌名を記載 第 ○ 巻 (○頁～○頁) 平成 ○ 年

共著者のうち、学位申請者の
名前にアンダーライン

2. 題名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(和訳 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○)

著者名 ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

雜誌名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○, Vol. ○, P. ○-○, 2000

論文題名が外国語の場合、
和訳を付す。

3. 題名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(和訳 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○)

著者名 ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○, ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

雑誌名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○, Vol. ○, P. ○-○, 2000

○ 編 ○ 冊

(例：3編3冊)

注意点：(注)雑誌は学術雑誌に限る。

乙様式 3

論文要旨

乙第

空欄

号 氏 名 ○ ○ ○ ○

主論文の要旨

○
○
○
○
○ ○

(500 字程度にまとめて記入すること。)

記入例

乙様式 4

乙第

空欄

号

ここに記入されたとおりの名前、本籍地、生年月日が学位記に記載されるので、戸籍通り正確に記載すること。例) 高・高、崎・崎、邊・邊 等

履 歴 書

氏 名
(ふりがな)

○ ○ ○ ○
○○ ○○ ○○ ○○

男
女

何れかを○印で囲む

生年月日 昭和／平成 ○○年○○月○○日 生
本 籍 ○ ○ ○ 県
現 住 所 ○○県○市・郡○○○町・村○○○番地

本学教職員の場合の記入例

学 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○大学○○学部○○学科卒業
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 第○○回医師国家試験合格
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 医師免許証下附せらる (第 ○○○○○○号)

入学・修了などは正式な年月日を記載。国家試験は合格発表日を記載・

研 究 歴

履歴調書または経歴書の通り記載のこと。(修練員の履歴は記載不要)
※履歴調書: 臨床研究員(庶務課より入手)、
経歴書: 助教、退職者(人事課より入手)

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学病院研修医○○において臨床研修許可
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学助教医学部○○学講座勤務
兼ねて医学部○○学講座勤務
現在に至る

本学教職員以外(特別研究生等)の場合の記入例

学 歴 (本学教職員の場合に準ず)

研 究 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○大学助教○○学部○○学講座勤務
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 上記退職
平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 久留米大学医学部○○学講座に
特別研究生として入学
現在に至る

職 歴

平成 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ○○病院勤務
(現住所において○○医院開業)
現在に至る

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

清書提出日の年月日、手書き可

必ず自署、要押印

氏 名 ○ ○ ○ ○ (印)

主査及び副主査推薦書

清書提出日の年月日、手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科

科長 ○ ○ ○ ○ 殿

申請者、 ○ ○ ○ ○ 氏の主査及び副主査を下記のとおり推薦いたします。

主査 ○ ○ ○ ○

副主査 ○ ○ ○ ○

副主査 ○ ○ ○ ○

指導教授に推薦して頂く。
手書き可

清書提出日もしくはそれ以前
の年月日、手書き可

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

指導教授名 ○ ○ ○ ○ ⑩

必ず自署、要押印

注意点：

1. 論文の審査委員は主査1名、副主査2名とする。
2. 指導教授及び共著者は、主査及び副主査になることができない。
3. 主査は本学医学研究科教授であること、副査は本学・学外教授（准教授も可）
4. この推薦書で以って研究科委員会にて審査委員を決定する。

主論文が共著の場合のみ必要

該当する場合、共著者全員から「承諾書・誓約書」に署名をいただく必要があります。（主論文が単著の場合は提出不要）

共著者に外国人が含まれている場合、英語の誓約書で対応してください（サンプルあり）。

承
誓

諾
約

書
書

記入例

手書き可

令和〇年〇月〇日

久留米大学大学院医学研究科
科 長 ○ ○ ○ ○ 殿

主論文が英文の場合は
必ず和訳を入れること。

論 文 題 名

(○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 和 訳)

学術雑誌名

略誌名ではなく正式な雑誌名を
記載すること。

○ ○ ○ ○

第 卷 , 頁 ~ 頁 , 年

上記論文を ○ ○ ○ ○ 氏が久留米大学医学博士の学位申請論文として提出すること及び学位の授与後、インターネット上で公表することを承諾します。

なお、私共当該論文を学位論文として過去において使用したことがなく、 また、将来においても使用しないことを誓約します。

申請者氏名

印

共著者氏名

印

共著者氏名は必ず自署のこと。1枚にまとめる必要はなく、共著者が複数の場合は、必要枚数コピーすること。

//

印

//

印

//

印

//

印

//

印

//

印

主論文が共著の場合のみ必要
該当する場合、役割の証明が必要です。
(主論文が単著の場合は提出不要)

記入例

共著論文内容における申請者の役割についての証明

申請者氏名 ○ ○ ○ ○

申請者

氏名 役割(簡条書き)

○○ ○○ ← 研究全般の中心的遂行、論文執筆
○○ ○○ ○○○○○○○○、○○○○○○○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○ ○○○○○○○○、○○○○○○○○、研究の統括

● 申請者を含む共著者全員の役割分担について

下記の項目より該当するものを選び、申請者を含む共著者全員について役割分担を記載してください。

※記載の際は、以下のルールにご留意ください：

- ・ 1、7 は、筆頭著者および共同筆頭著者 (Equal Contributor) のみ記載可能
- ・ 9 は指導教授および論文の最終著者のみ記載可能

1. 研究全般の中心的遂行 (申請者および Equal Contributor のみ記載可能)
2. 研究の構想
3. データ取得
4. データ取得の支援
5. データ分析・解釈
6. データ分析・解釈の支援
7. 論文執筆 (申請者および Equal Contributor のみ記載可能)
8. 論文執筆の支援
9. 研究の統括 (指導教授および論文の最終著者のみ記載可能)

※ 共著者の氏名表記は、承諾書 誓約書のサインと同じであること。

例)	久留米 太郎	≠	久留米 太朗
	久留米 次郎	≠	久留米 二郎
	高	≠	高
	崎	≠	崎

上記の通り相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

指導教授の氏名は必ず自署のこと。

清書提出日もしくはそれ以前
の年月日、手書き可

指導教授名 _____ (印)